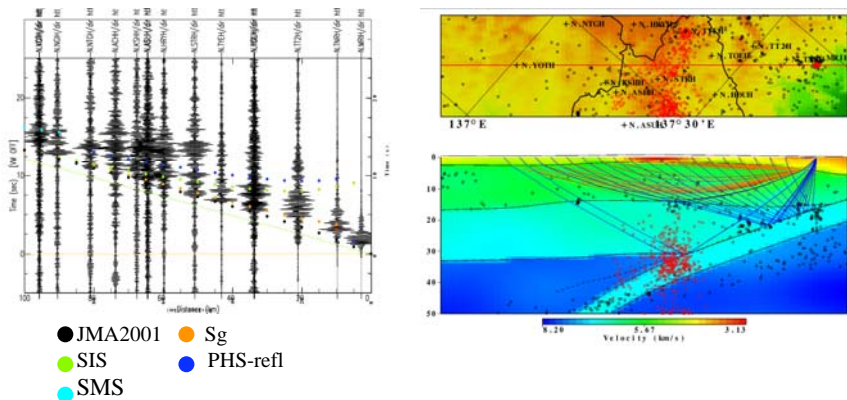


「（建議）地震予知のための新たな観測研究計画（第2次）」（H16～H20）
気象庁の課題（H19年度）

番号	研究課題名
7001	地震発生機構と地殻構造に関する基礎的研究
7002	伊豆半島東部における地磁気全磁力観測
7003	日本列島域における地磁気基準点での観測
7004	不均質な場を考慮に入れた震源パラメータ及び地震活動パラメータの推定手法に関する研究
7005	震源決定精度の向上
7006	発震機構の自動処理
7007	地殻変動データ監視の高度化
7008	東海地震の予測精度向上及び東南海・南海地震の発生準備過程の研究
7010	自己浮上式海底地震計観測による宮城県沖の地震活動
7012	過去の地震記象のマイクロフィルム化
7013	地磁気永年変化のデータベースの構築
7014	全国地震カタログの作成
7015	過去にさかのぼった震源決定と、総合的な地震カタログの作成
7016	地震サイクルの中で様々な時空間的特徴を持つ地殻変動に関する研究
7017	験潮観測
7018	全磁力精密連続観測
7019	ケーブル式海底地震計システムを用いる地震・津波観測
7020	定量的地震活動解析手法の開発

○ 地殻活動モニタリング手法の開発

森町アクロス送信所からの信号の解析

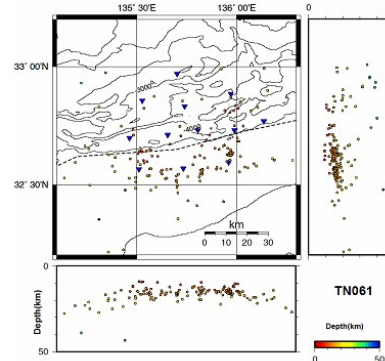


● JMA2001 ● Sg
● SIS ● PHS-refl
● SMS

森町送信所からの伝達関数を得て、その走時を解析中

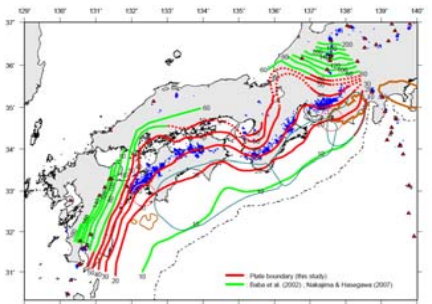
○ 地震活動によるプレートの詳細構造の解明

自己浮上式海底地震計観測による
潮岬南方沖の地震活動



潮岬南方沖の海溝軸よりも外側の
活発な地震活動を検知

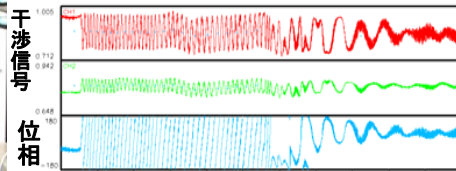
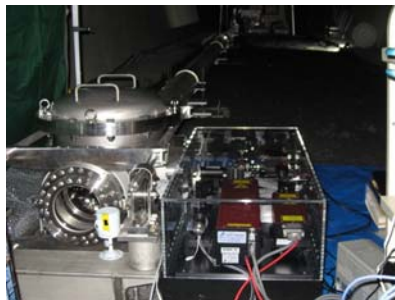
DDTモグラフィー法による
プレート構造の推定



速度構造に基づきプレート形状を推定

○ 新地殻変動観測手法の開発

レーザー式変位計の構築(船明トンネル)

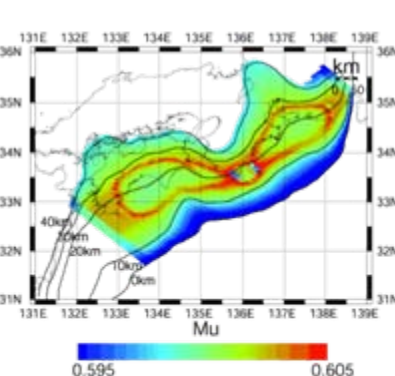


波長スイープ方式による絶対長測定実験を
実施(波長スイープによる位相変化検出)

日本最長の地殻変動観測用レーザー
伸縮計(200m)として観測開始予定

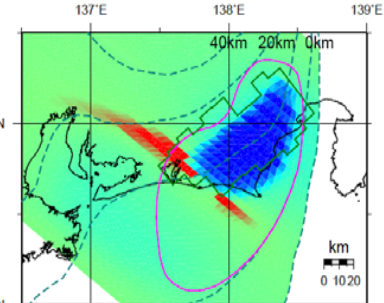
○ 三次元数値モデルによる 巨大地震発生シミュレーション

東海・東南海・南海地震の
連動性に関するシミュレーション



新たに得たプレート形状を採用することで、
紀伊半島沖における応力集中をモデル化した

東海地域におけるスロースリップの再現



摩擦パラメータの空間分布などを調整することで
東海スロースリップのモデルを改良中